

# 高等学校第2学年芸術科（音楽Ⅱ）学習指導案

指導者 佐久間 恵

## 1 題材名 標題音楽の楽しみ

### 2 題材の目標

音楽を形づくっている要素と標題に象徴される曲想とのかかわりを理解して聴き、標題音楽のおもしろさを味わう。

### 3 題材設定の意図

高等学校学習指導要領（平成21年3月）の芸術科改訂の要点の一つに「(ウ)音楽では楽曲や演奏について根拠をもって批評する活動（中略）を鑑賞指導に取り入れるようにし、言語活動の充実を図るようにした。」とある。これは、音楽から感じ取ったイメージなどを自分なりの価値をもって言葉で表す主体的・能動的な言語活動を取り入れることによって、結果として、音楽のよさや美しさなどの味わいを深め、鑑賞の学習が一層充実することになるととらえる。

さらに、音楽IのB鑑賞のイには、「音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受して鑑賞すること。」とあり、今回の改訂では、すべての音楽活動を支える基盤として「音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受」することが示されている。

また、標題音楽（「文学的内容・絵画的描写など音楽外の観念や表象と直接結びついた音楽」『広辞苑 第六版』）は、表現の意図を理解しやすく、音楽外的なものを音楽でどのように表現しているのかを感じ取って、楽しみながら鑑賞することができる音楽である。したがって、クラシック音楽に抵抗感のある生徒にも、楽しく創造的に鑑賞活動ができるものと考える。また、標題音楽は、音楽の中にその標題を表現するための特徴的な音楽を形づくっている要素（以下、要素と示す。）がある。それらに注目して学習することにより、要素と標題に象徴される曲想とのかかわりを理解して聴き、音楽のよさや美しさなどについて批評文を書くなどの根拠をもって批評する活動が可能になる。

そこで、鑑賞の学習において、要素を客観的な理由としてあげながら、それらと標題に象徴される曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評する活動をすることで、標題音楽のおもしろさを味わい、楽しく創造的に鑑賞する生徒を育てていきたい。

## 4 教材について

### ○ 「舞踏への勧誘」（ウェーバー 作曲／ベルリオーズ 編曲）

紳士が貴婦人に踊りの相手を申し込み、貴婦人はそれに応え、二人で華やかにワルツを舞い、紳士が礼を述べて終わるという一連のシーンが音楽で巧みに表現されている。楽器の音色で男性・女性を描き分けたり、旋律の形から問い合わせ（応答）を表現したり、様々な楽器を用いて華やかなワルツの雰囲気を出したりなど、音楽の特徴から情景を想像しやすい楽曲である。場面に合わせてイラストや写真などを使い、要素と標題を関連させながら鑑賞することで、音楽を想像豊かに鑑賞する楽しさを味わわせることができる。

### ○ 交響詩「死の舞踏」（サン=サーンス 作曲）

骸骨たちの踊りの様子が表現された音楽である。骸骨の骨の当たる音をシロフォンで表現したり、オーボエで暁の鶏の鳴き声を模倣したりしている。場面に合わせて詩やイラストなどを使うことで、要素と標題（詩）を関連させながら想像豊かに鑑賞することができる。また、シロフォンによる旋律は、組曲「動物の謝肉祭」の「化石」の旋律としても使われている。そのため、組曲「動物の謝肉祭」をより深く鑑賞するために重要な楽曲である。

○ 組曲「動物の謝肉祭」(サン=サーンス 作曲)

動物たちの特徴を音楽で巧みに表現した小曲が多い。そのため、音色や旋律などの要素に着目して鑑賞することで、何の動物がどんな様子でいるのかを推測することができる。また、ユーモラスな表現も多いので、音楽を楽しく創造的に鑑賞するのに適している。様々な曲があるので、印象に残った表現や、関心を持った表現を見付けやすく、要素を客観的な理由としてあげながら、標題に象徴される曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評したことを批評文として表しやすい。

5 題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 芸術的な感受や表現の工夫	エ 鑑賞の能力
歌唱			
器楽			
創作			
鑑賞	○	○	○
題材の評価規準	要素と標題に注目して聴くことに関心をもつている。	要素を知覚し、楽曲にもたらしている効果を感じ取っている。	要素が楽曲にもたらす効果を理解して聴き、根拠をもって批評し、そのよさや美しさ、おもしろさを味わっている。
学習活動における具体的評価規準	①要素（音色や旋律、奏法、速度、強弱、反復、応答、拍子）に注目して関心をもって聴き、標題とのかかわりについて客観的な理由をあげながら、ワークシートに記入することに意欲的である。	①要素（音色や旋律、奏法、速度、強弱、反復、応答、拍子）を知覚して、それらが楽曲にもたらしている効果を感じ取ったことを発表したり、ワークシートに記入したりしている。	①要素（音色や旋律、奏法、速度、強弱、反復、応答、拍子）が楽曲にもたらしている効果を理解して楽曲を聴き、そのよさや美しさ、おもしろさを味わったことを、自分なりの価値をもって批評文に表し、伝え合っている。

6 学習活動と評価の計画（4時間扱い）

次	ねらい	主な学習活動	具体的評価規準
第1次 (1)	○要素と標題に注目して関心をもって聴く。	鑑賞曲「舞踏への勧誘」「死の舞踏」 ○要素と標題に注目して聴きながら、客観的な理由をあげてワークシートに記入する。	ア-①
第2次 (2) 本時	○要素を知覚し、それらと標題に象徴される曲想とのかかわりが楽曲にもたらす効果を感じ取る。	鑑賞曲「動物の謝肉祭」 ○動物と楽曲の特徴を、要素と関連させて考え、標題を想像しながら聴く。	イ-①
第3次 (1)	○要素が楽曲にもたらしている効果を理解して聴き、根拠をもって批評して、そのよさや美しさ、おもしろさを味わう。	「動物の謝肉祭」 ○楽曲全体を鑑賞し、自分なりの価値をもって批評文を書き、伝え合う。	エ-①

## 7 本時の学習 (第2次, 第1・2時)

### (1) ねらい

要素（音色や旋律、奏法、速度、強弱、反復、応答、拍子）を知覚し、それらと標題に象徴される曲想とのかかわりが楽曲にもたらす効果を感じ取る。

### (2) 準備・資料

「動物の謝肉祭」及び「天国と地獄」のCD、ワークシート、楽譜（総譜の一部）、音楽を形づくっている要素と曲想に関する言葉のカード、動物のイラスト、楽器の写真

### (3) 学習の展開

時	学習内容と主な学習活動	教師の働きかけ																
第 1 時	<p>1 本時のめあてを確認する。            音楽の要素に注目して、動物の様子を想像しながら聴こう。</p> <p>2 「動物の謝肉祭」を聴く。            (1) 各楽曲の特徴となる要素と標題に象徴される曲想とのかかわりに注目し、想像して聴く。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>曲名</th><th>要素など</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>序奏と獅子王の行進</td><td>強弱、旋律、音型など</td></tr> <tr> <td>めんどりとおんどり</td><td>奏法、強弱、反復、応答など</td></tr> <tr> <td>らば</td><td>旋律、速度、強弱など</td></tr> <tr> <td>かめ</td><td>旋律、速度、強弱など</td></tr> <tr> <td>ぞう</td><td>音色、旋律、強弱、拍子など</td></tr> <tr> <td>カンガルー</td><td>旋律、奏法、反復など</td></tr> <tr> <td>水族館</td><td>音色、奏法、強弱など</td></tr> </tbody> </table>	曲名	要素など	序奏と獅子王の行進	強弱、旋律、音型など	めんどりとおんどり	奏法、強弱、反復、応答など	らば	旋律、速度、強弱など	かめ	旋律、速度、強弱など	ぞう	音色、旋律、強弱、拍子など	カンガルー	旋律、奏法、反復など	水族館	音色、奏法、強弱など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の授業の進め方、ワークシートの記入の仕方について説明する。</li> <li>○要素を知覚させるために、各楽曲の特徴的な要素を焦点化して注目させ、それがもたらす効果と標題を関連させて聴くように指導する。</li> <li>○要素と標題に象徴される曲想とのかかわりが楽曲にもたらす効果を感じ取ったことを、生徒が積極的に発表できるようにする。</li> <li>○標題に象徴される曲想とのかかわりについて、要素を客観的な理由としてあげながらワークシートに記入し、感じ取ったことを分かりやすく伝え合うように助言する。</li> </ul>
曲名	要素など																	
序奏と獅子王の行進	強弱、旋律、音型など																	
めんどりとおんどり	奏法、強弱、反復、応答など																	
らば	旋律、速度、強弱など																	
かめ	旋律、速度、強弱など																	
ぞう	音色、旋律、強弱、拍子など																	
カンガルー	旋律、奏法、反復など																	
水族館	音色、奏法、強弱など																	

第 2 時	(2)の続き)		<p>○要素と標題に象徴される曲想とのかかわりが楽曲にもたらす効果を感じ取ったことを伝え合った上で、標題音楽のおもしろさを味わいながら聴くように指導する。</p> <p>&lt;評価&gt; (イー①)</p> <p>要素(音色や旋律、奏法、速度、強弱、反復、応答、拍子)を知覚して、それらが楽曲にもたらしている効果について感じ取ったことを発表したり、ワークシートに記入したりしている。</p> <p>○本時の活動を振り返り、次時の学習への意欲を喚起する。</p>
	曲名	要素など	
	耳の長い登場人物	音色、強弱など	
	森の奥に住むかっこう	音色、奏法、強弱、音型など	
	大きな鳥かご	音色、旋律、強弱など	
	ピアニスト	奏法など	
	化石	音色、旋律、強弱など	
	白鳥	音色、旋律、奏法、強弱など	
	終曲	旋律、強弱など	
<p>(2) 要素と標題に象徴される曲想とのかかわりが楽曲にもたらしている効果をワークシートに記入し、発表する。</p> <p>3 標題音楽のおもしろさを味わいながら「動物の謝肉祭」を聴く。</p> <p>4 学習のまとめをする。</p>			